



仙波糖化工業株式会社

証券コード：2916

2026年3月期 第3四半期決算補足説明資料

2026年2月13日

第3四半期決算概況

2026/3期 第3四半期

- ✓売上高は、冷凍山芋の新製品効果や粉末乾燥製品が堅調に推移し、3.2%の増収
(中国龍和食品連結除外の影響額を控除した事業継承ベースでは、4.8%の増収)
- ✓営業利益は、自社商材の販売増や中国仕入れ商材の円高寄与もあり、23.0%の増益
- ✓経常利益は、為替差損を計上するも、6.1%の増益

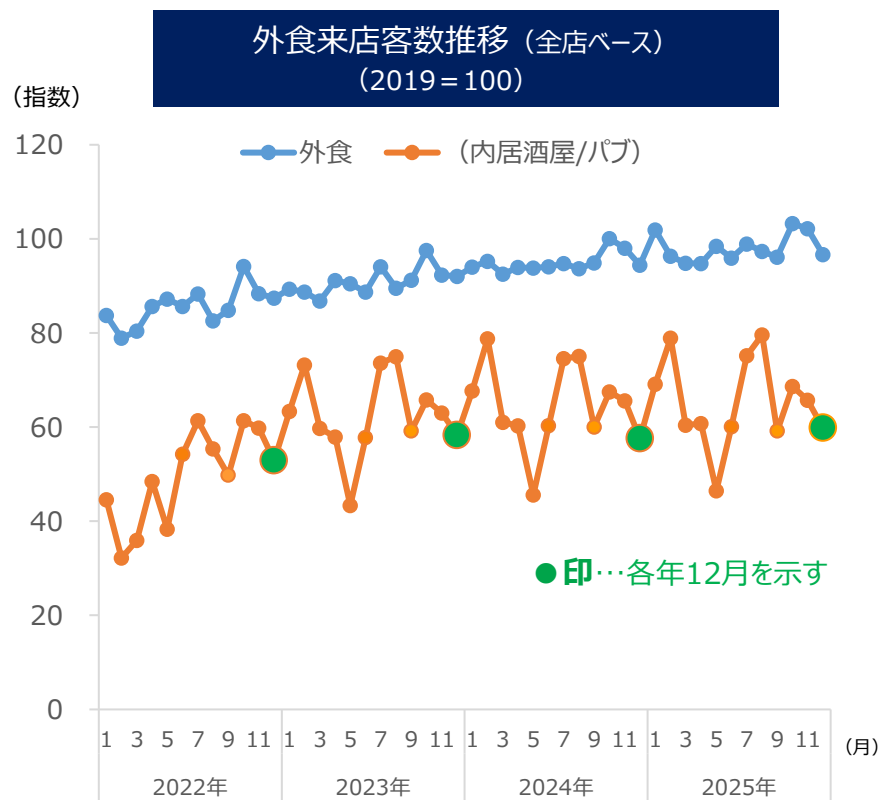
(単位：百万円、円)

	2025/3期 (1-3Q)		2026/3期 (1-3Q)				
	金額	前同比 (伸び率)	金額	前同比 (伸び率)	通期 進捗率	3Q	前同比 (伸び率)
売上高	14,320	▲1.4%	14,783	+3.2%	75.0%	5,189	+2.5%
営業利益	658	+12.6%	809	+23.0%	90.0%	388	+8.2%
経常利益	662	▲7.2%	703	+6.1%	85.7%	430	+67.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	392	▲19.9%	438	+11.7%	84.3%	273	+109.3%
1株純利益	34.48	-	38.51	-	-	-	-
減価償却費	612	▲11.3%	579	▲5.3%	-		
研究開発費	216	+11.9%	250	+15.9%	-		

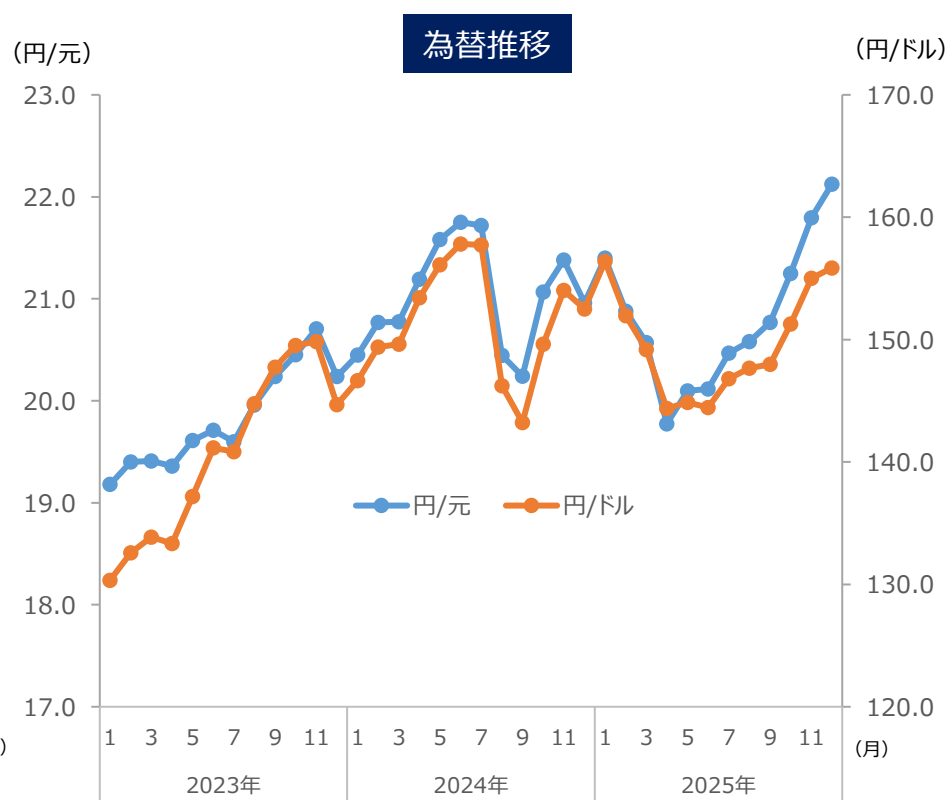
(注) 中国龍和食品は、前期2Q以降持分法適用会社

外食来店客数は、新型コロナ禍前の水準に回復も、居酒屋/パブは季節要因で変動あるが依然 低水準

高市政権発足後は経済対策方針で対ドル円安進行
人民元は当局の元高容認姿勢で米ドル以上に円安が加速



(出所) 日本フランチャイズチェーン協会、日本フードサービス協会

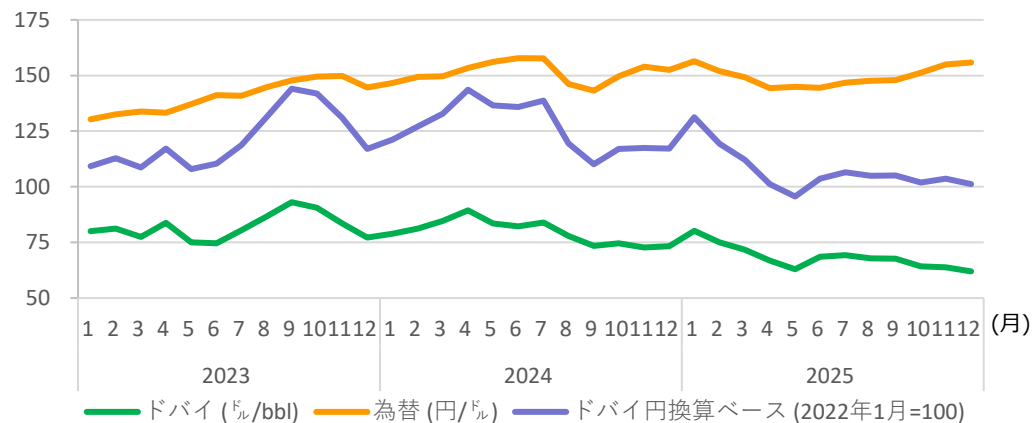


(出所) 日本経済新聞

原・燃料価格動向

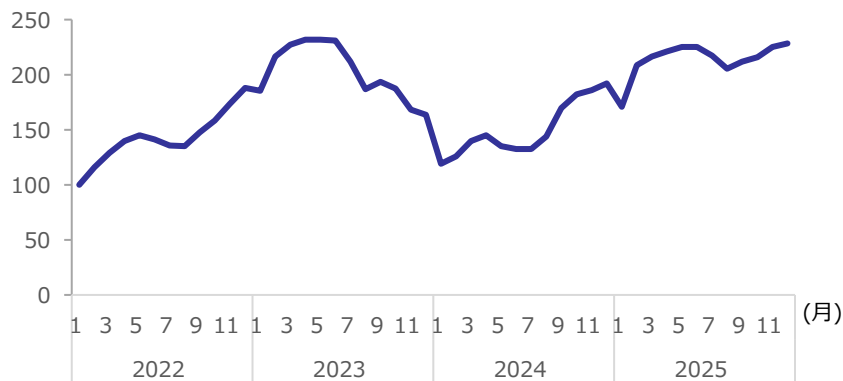
2026/3期 第3四半期

【原油価格推移 (為替影響を反映)】



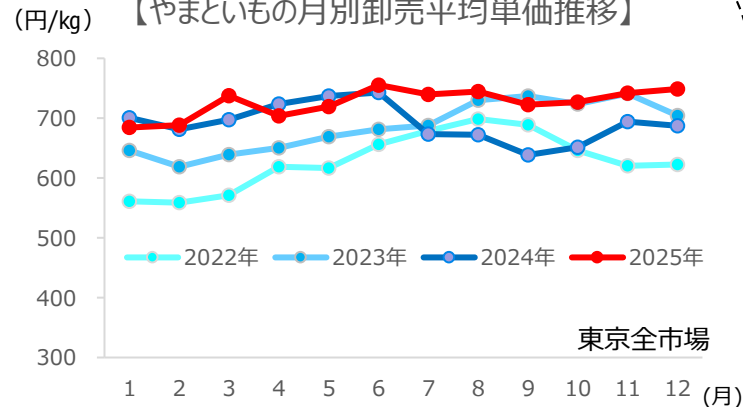
(出所) 日本経済新聞

【鶏卵価格推移】
(2022年1月 = 100)

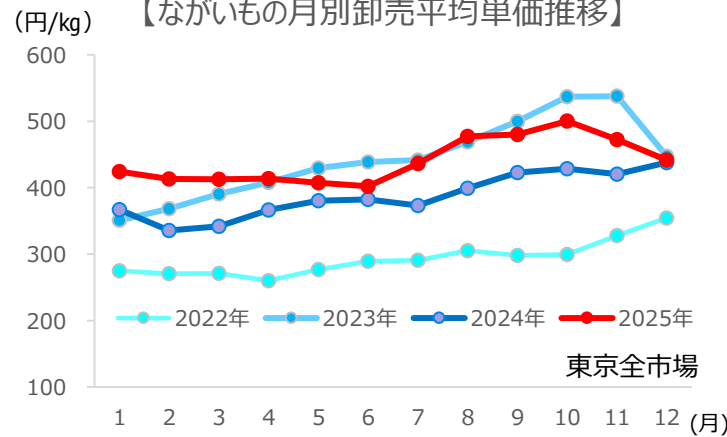


(出所) 日本養鶏協会

【やまといもの月別卸売平均単価推移】



【ながいもの月別卸売平均単価推移】



(出所) 東京都中央卸売市場

- ✓カaramel製品は、デザート向けシラップ製品の反動減も、海外の着色用需要を取り込む
- ✓乾燥製品類は、国内粉末調味料類(醤油、味噌等)が好調、ベトナム子会社の販売増加
- ✓組立製品類は、ヘルスケア商材受託の一部が回復傾向
- ✓冷凍製品は、連結除外した中国龍和食品の売上消失分を、冷凍山芋の販売増で吸収

(単位：百万円)

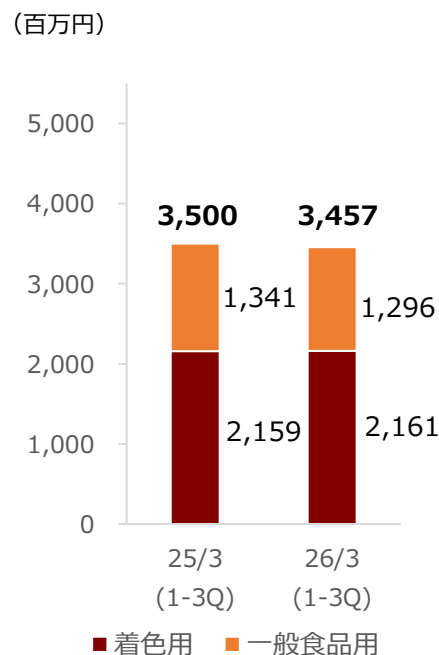
	2025/3期		2026/3期				
	1-3Q	構成比	1-3Q	構成比	前同比 (伸び率)	3Q	前同比 (伸び率)
売上高	14,320	100%	14,783	100%	+3.2%	5,189	+2.5%
カaramel製品	3,500	24.4%	3,457	23.4%	▲1.2%	1,258	▲1.6%
乾燥製品類	5,245	36.6%	5,375	36.4%	+2.5%	1,864	▲0.6%
組立製品類	2,412	16.8%	2,630	17.8%	+9.0%	1,010	+11.0%
冷凍製品	2,305	16.1%	2,393	16.2%	+3.8%	729	+8.3%
その他	855	6.1%	926	6.2%	+8.3%	327	+0.4%
自社商材	10,174	71.0%	10,604	71.7%	+4.2%	3,653	+2.9%
受託商材	4,146	29.0%	4,179	28.3%	+0.8%	1,536	+1.5%
海外売上高	548	3.8%	306	2.1%	▲44.0%	89	▲30.7%

(為替レート：円/米ドル) 151.29 148.23 ▲2.0%

(為替レート：円/元) 20.97 20.51 ▲2.2%

(為替レート：円/VND) 0.006186 0.005857 ▲5.3%

カaramel製品



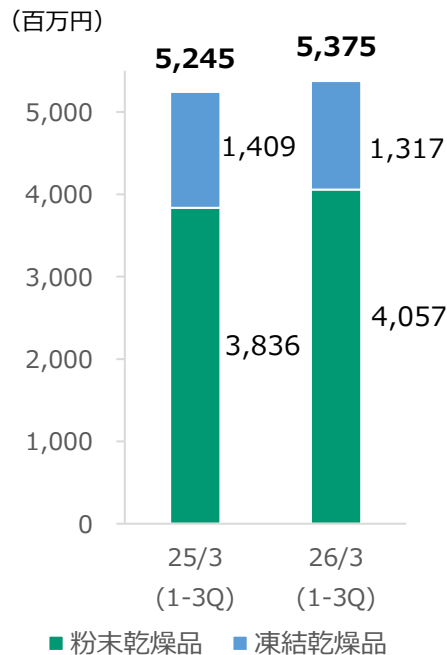
一般食品用

- ・プリン、アイスクリーム向けは堅調
- ・季節限定商品向けは反動減

着色用

- ・飲料向け需要が増加
- ・海外市場取り込み効果
- ・カレー向けは減少

乾燥製品類



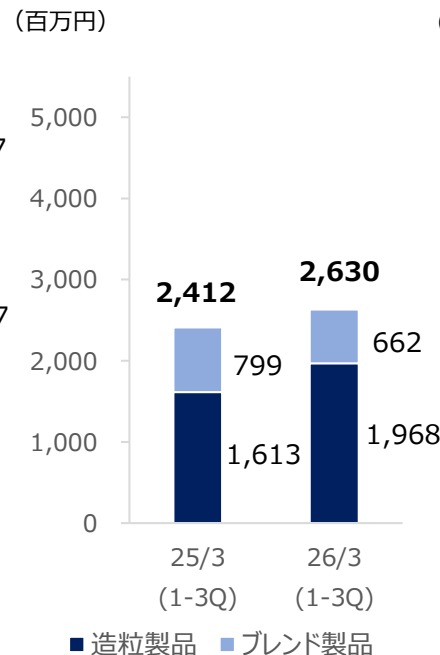
凍結乾燥製品

- ・乾燥野菜の受注は堅調
- ・その他の製品は軟調

粉末乾燥製品

- ・粉末醤油、粉末味噌需要増
- ・粉末茶堅調
- ・ベトナム子会社の拡販効果

組立製品類



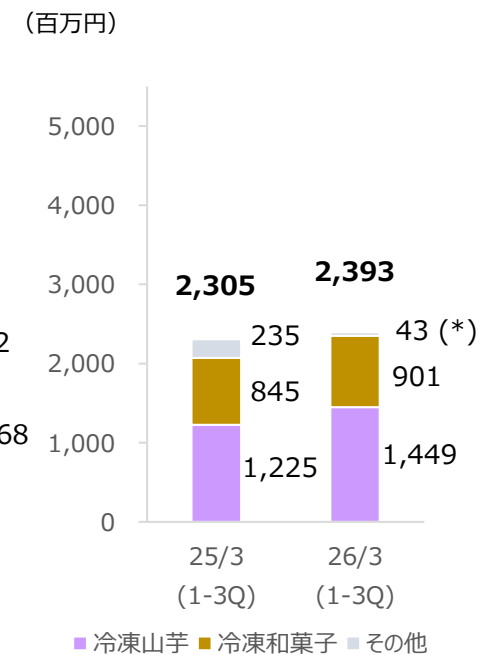
ブレンド製品

- ・焼きそばソース向けが好調
- ・調味料関連の受託減少

造粒製品

- ・スポーツサブリ受託の一部が回復
- ・給茶機向け粉末清涼飲料増

冷凍製品



その他

- ・中国の冷凍デザート減少(*)

冷凍和菓子

- ・どら焼き・ドームケーキ堅調

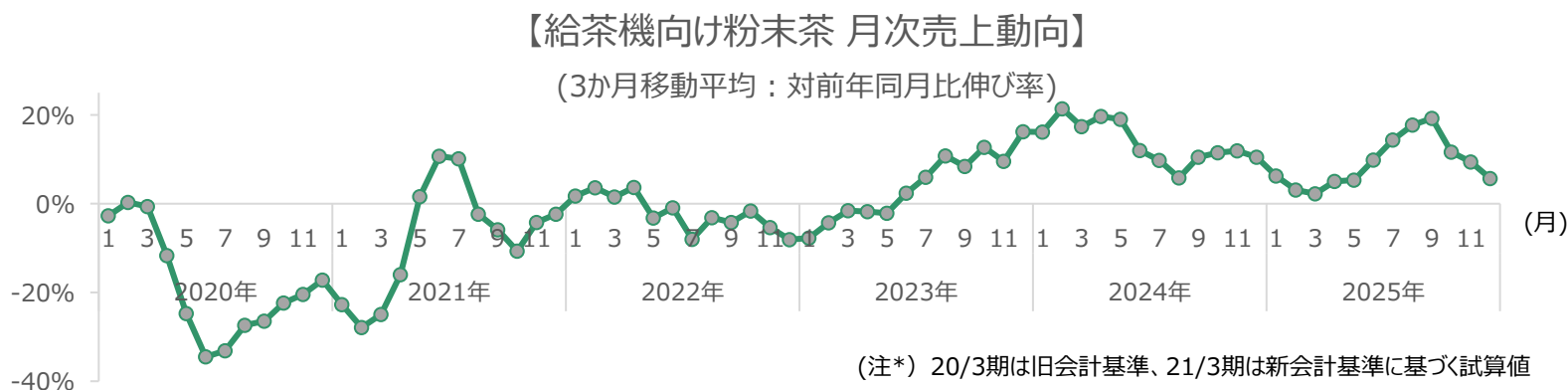
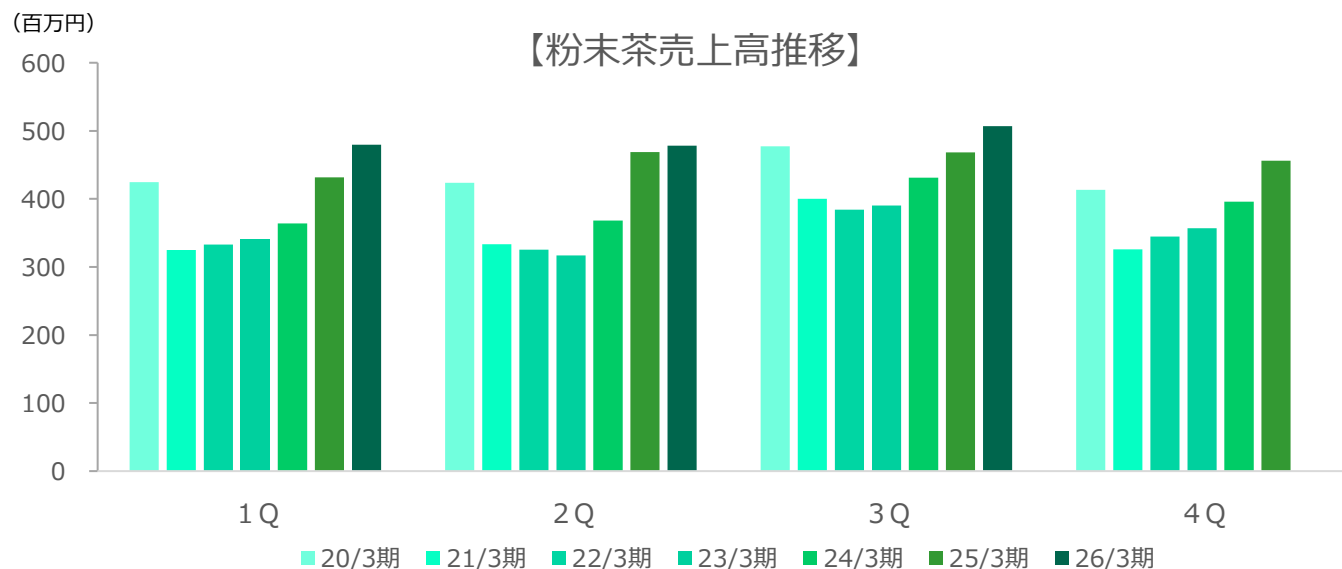
冷凍山芋

- ・外食・CVS向け需要が増加
- ・外食向け提案営業効果

(注*) 龍和食品の連結除外の影響

①粉末茶

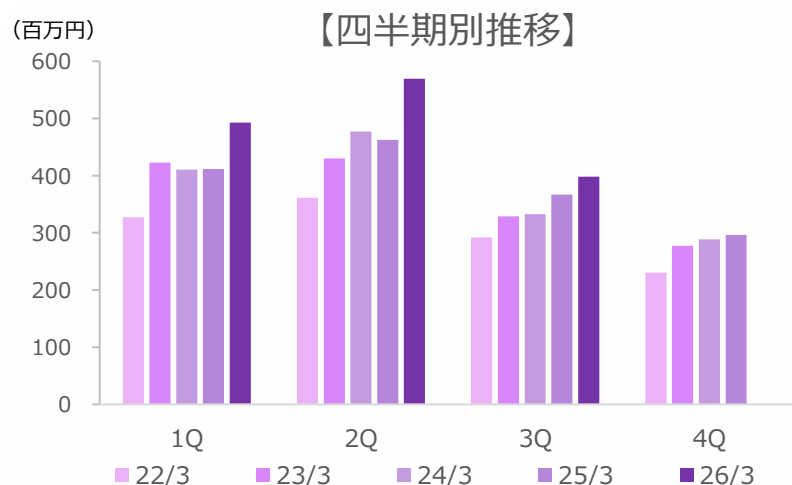
✓ 売上高は増加基調も原料茶葉価格が急騰
原料確保や価格転嫁等の対応が急務



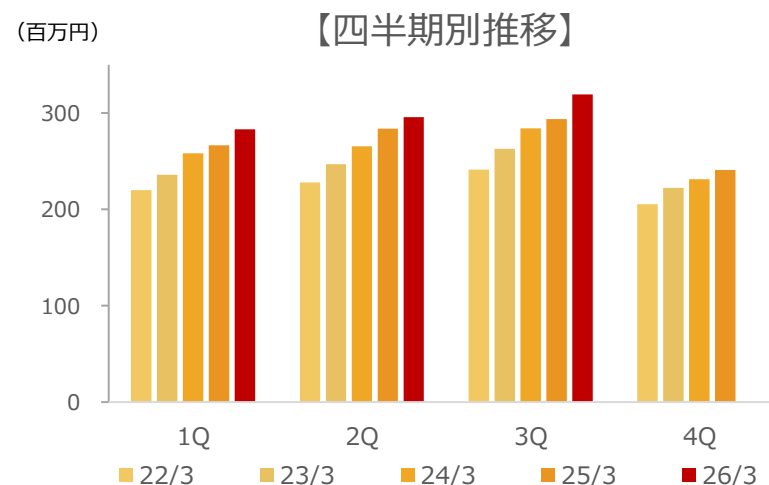
②冷凍製品

- ✓ 冷凍山芋は、天候要因や新製品投入効果でCVS及び外食向けが伸長
- ✓ 冷凍和菓子、新規顧客開拓効果もあり、依然増加基調で推移

冷凍山芋売上高

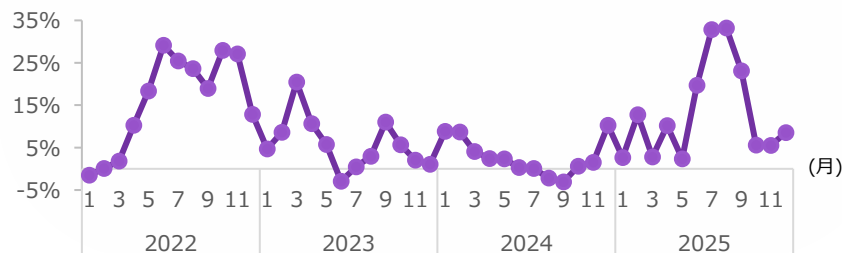


冷凍和菓子売上高



【月次動向】

(3か月移動平均前年同月比伸び率)



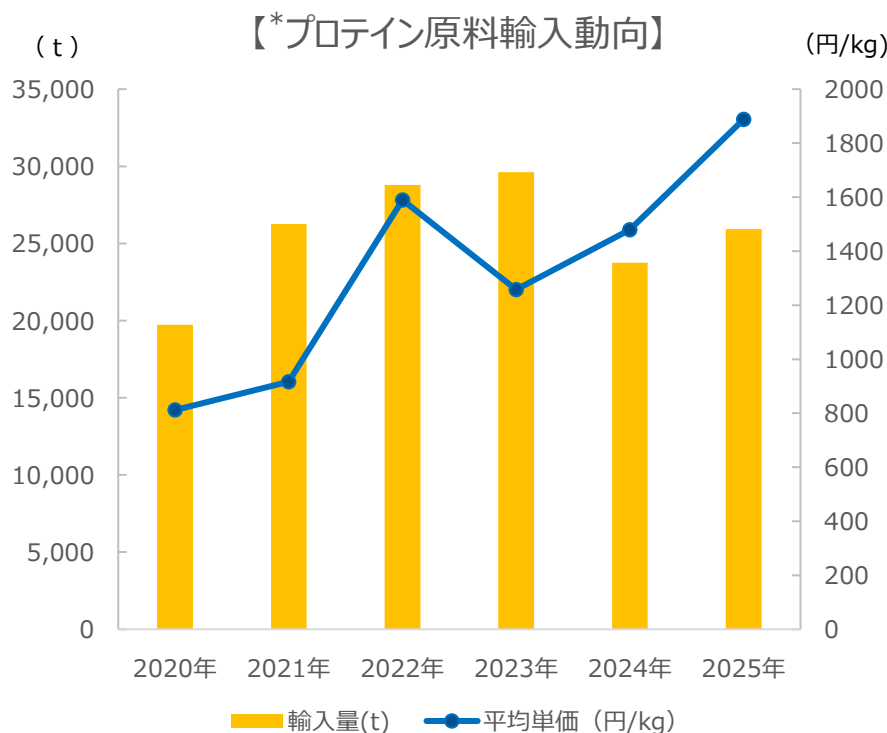
【月次動向】

(3ヶ月移動平均前年同月比伸び率)



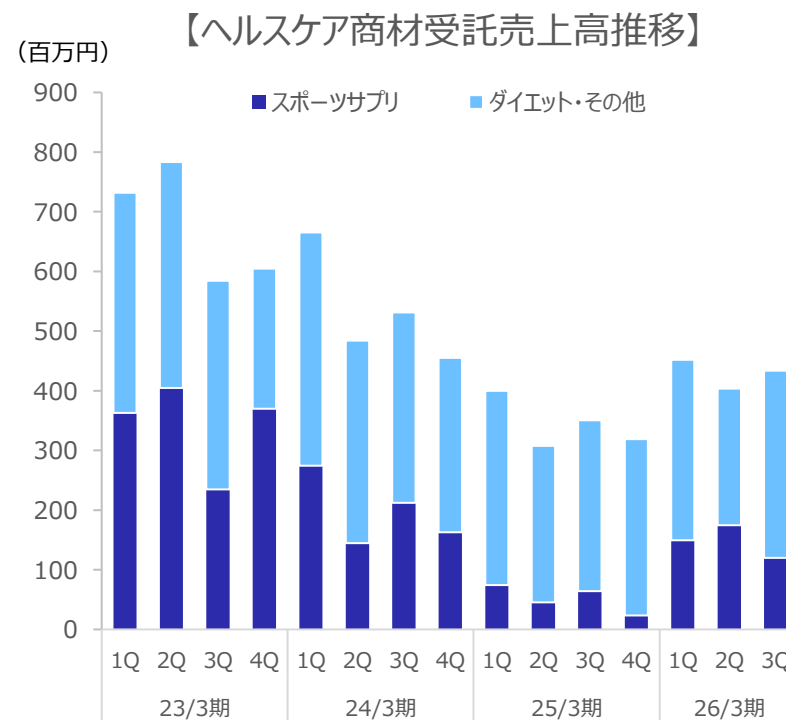
③ヘルスケア商材受託

✓ スポーツサプリは回復傾向にあるも、プロテイン原料の輸入価格は高値続く
プロテイン原料の平均単価は前年比28%上昇



(*)プロテイン原料：ミルクアルブミン（2以上のホエイたんぱく質の濃縮物を含む）

(出所) 財務省貿易統計



- ✓原価率は、原材料費の増加を値上げ効果や生産効率改善を進め、0.5ポイント圧縮
- ✓営業利益率は、運賃が増加するも、増収効果などで、0.9ポイント上昇
- ✓円高要因で、海外子会社の為替差損が発生し、営業外損益はマイナス計上

(単位：百万円)

	2025/3期(1-3Q)		2026/3期(1-3Q)		
	金額	構成比	金額	構成比	構成比 変化
売上高	14,320	100.0%	14,783	100.0%	—
売上原価	11,110	77.6%	11,402	77.1%	▲0.5 ポイント
売上総利益	3,209	22.4%	3,380	22.9%	+0.5 ポイント
販管費	2,550	17.8%	2,571	17.4%	▲0.4 ポイント
営業利益	658	4.6%	809	5.5%	+0.9 ポイント
営業外損益	3	0.0%	▲106	▲0.7%	▲0.7 ポイント
経常利益	662	4.6%	703	4.8%	+0.1 ポイント
特別損益	6	0.0%	—	—	▲0.0 ポイント
税引前利益	668	4.7%	703	4.8%	+0.1 ポイント
親会社株主に帰属する 四半期純利益	392	2.7%	438	3.0%	+0.2 ポイント

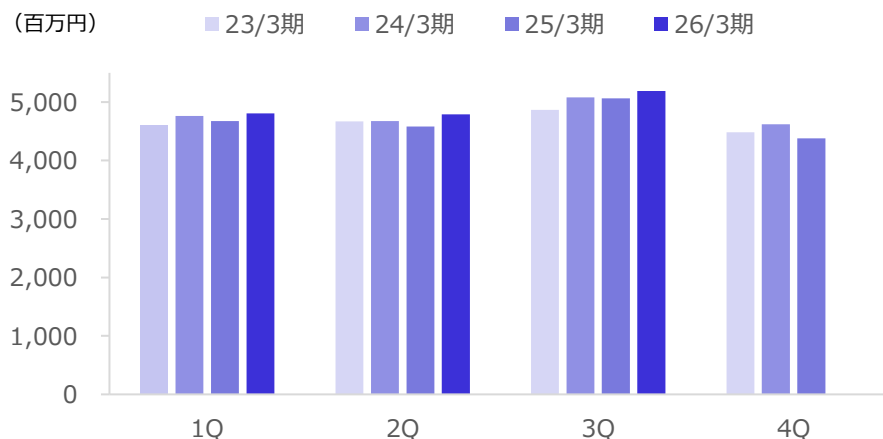
(百万円)

【営業外損益】	25/3 1-3Q	26/3 1-3Q
営業外収益	92 →	100
営業外費用	88 →	207
(為替差損)	▲15 →	▲140
(金融収支)	31 →	38

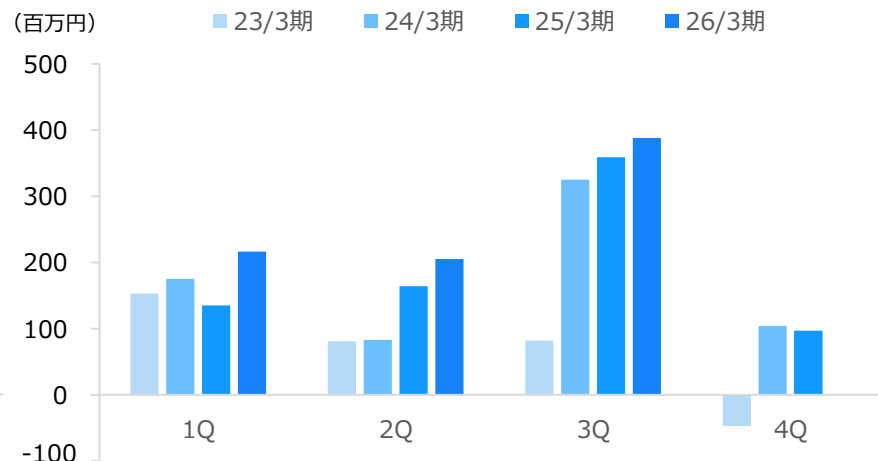
四半期業績推移

2026/3期 第3四半期

【四半期売上高推移】



【四半期営業利益推移】

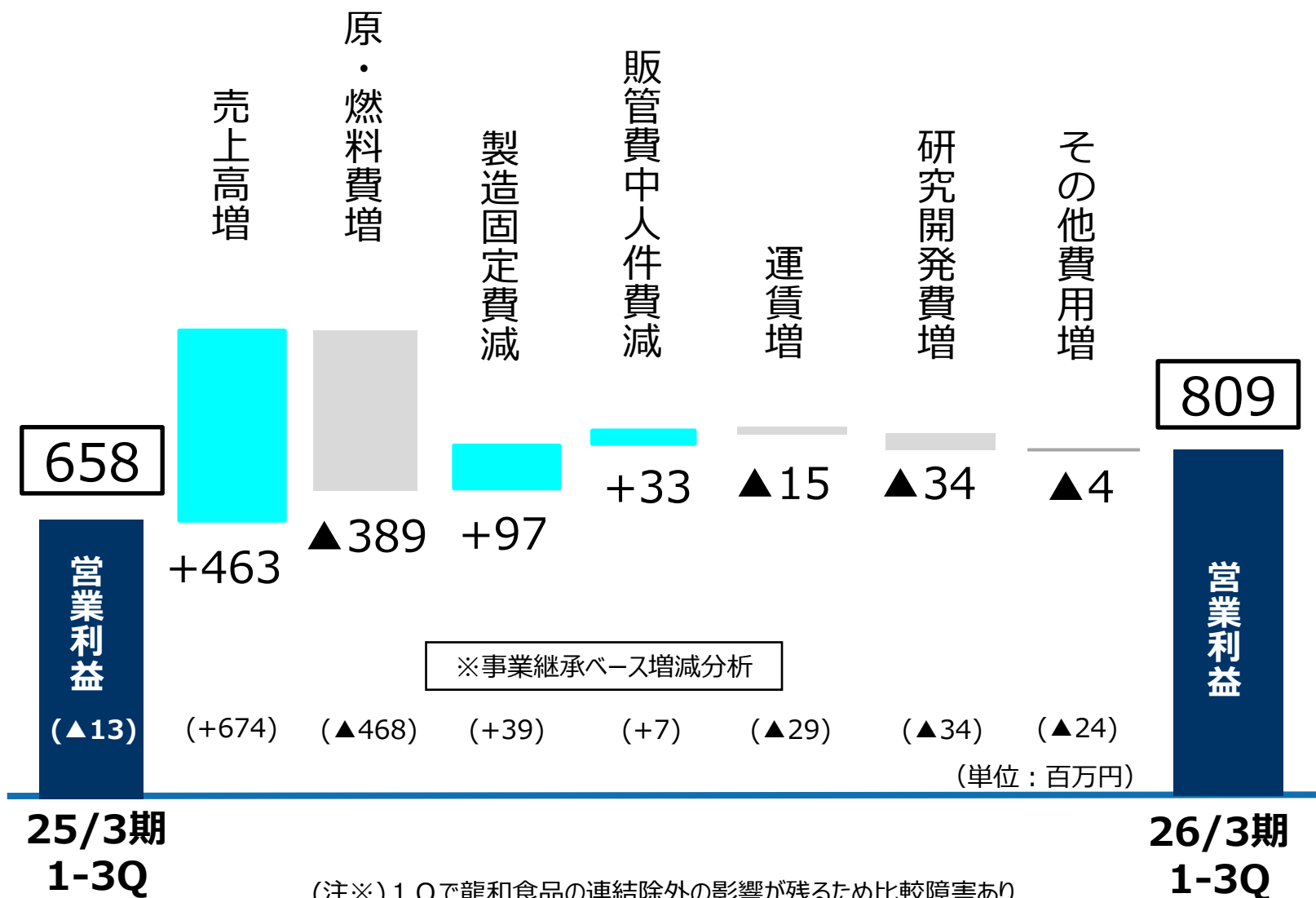


(単位：百万円)

	23/3期				24/3期				25/3期				26/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	4,603	4,669	4,868	4,479	4,765	4,677	5,077	4,617	4,677	4,580	5,062	4,381	4,804	4,789	5,189
カaramel製品	988	998	1,076	958	1,038	1,019	1,176	998	1,091	1,131	1,277	1,017	1,084	1,115	1,258
乾燥製品類	1,438	1,381	1,616	1,480	1,416	1,495	1,683	1,590	1,667	1,702	1,875	1,708	1,803	1,707	1,864
組立製品類	1,046	1,095	938	910	1,007	811	984	960	780	722	910	827	849	770	1,010
冷凍製品	845	923	906	851	1,035	1,054	895	796	871	761	672	549	787	877	729
その他	283	270	330	277	267	296	338	273	267	262	326	278	279	318	327
営業利益	153	81	82	▲46	175	84	325	105	135	164	359	96	216	205	388

営業利益増減分析

2026/3期 第3四半期



(注※) 1 Qで龍和食品の連結除外の影響が残るため比較障害あり
上表の()内数値は事業継承ベースでの増減額

要約貸借対照表

2026/3期 第3四半期

(単位：百万円)

	2025/3末	2025/12末	増減額
流動資産	11,173	12,578	+1,404
現金及び預金	3,081	3,972	+891
受取手形及び売掛金※	4,157	4,968	+811
棚卸資産	3,779	3,476	▲303
固定資産	9,486	9,695	+208
有形固定資産	5,069	4,834	▲235
無形固定資産	550	454	▲96
投資その他資産	3,866	4,406	+540
資産合計	20,660	22,273	+1,612

棚卸資産 ▲303 百万円
 ・商品及び製品 ▲208 百万円
 ・仕掛品 ▲82 百万円
 ・原材料及び貯蔵品 ▲12 百万円

※電子記録債権を含む

流動負債	6,682	7,568	+886
支払手形及び買掛金※	2,204	2,814	+609
短期借入金	2,898	3,418	+520
固定負債	2,120	2,214	+93
長期借入金	572	395	▲177
負債合計	8,802	9,782	+980
純資産合計	11,858	12,491	+632

有利子負債 +342 百万円
 ・短期借入金 +520 百万円
 ・長期借入金 ▲177 百万円

⇒自己資本比率 **56.0 %**
 (▲1.3 ポイント)

※電子記録債務を含む

製品区分別売上高予想（従前予想を据え置き）

【2026/3期予想】

- ✓カaramel製品は、提案営業推進で国内デザート向け需要増加を計画
- ✓乾燥製品類は、粉末茶が堅調、即席麺向け製品等の需要増加を見込む
- ✓組立製品類は、ヘルスケア商材受託加工が底打ちも、スープ類の需要堅調
- ✓冷凍製品は、国内冷凍和菓子および冷凍山芋は堅調

（単位：百万円）

	2025/3期			2026/3期予想			
	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)	伸び率
売上高	9,257	9,443	18,701	9,594	10,106	19,700	+5.3%
カaramel製品	2,222	2,295	4,518	2,199	2,601	4,800	+6.2%
乾燥製品類	3,369	3,584	6,953	3,511	3,839	7,350	+5.7%
組立製品類	1,502	1,737	3,240	1,619	1,681	3,300	+1.9%
冷凍製品	1,632	1,222	2,854	1,664	1,336	3,000	+5.1%
その他	529	604	1,133	598	652	1,250	+10.3%

- ✓ 下期において主力商材の原材料高騰の影響がさらに顕在化
営業利益は、価格転嫁とコスト改善を進め、従前予想どおり前期比19.1%増益を見込む
- ✓ 経常利益は、海外子会社の為替差損の計上を織り込むも、前期比0.5%増益を予想

(単位：百万円、円)

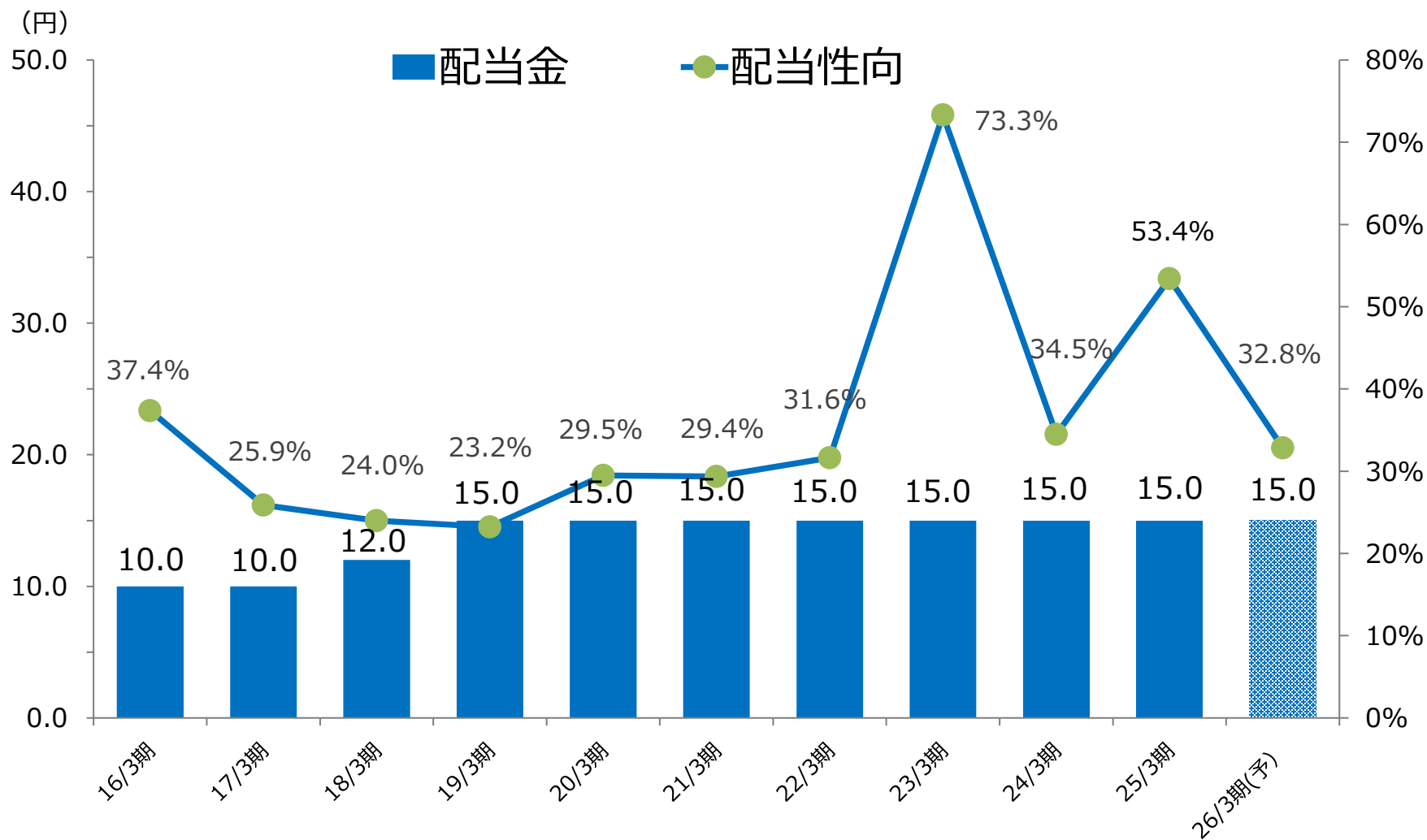
	2025/3期			2026/3期予想			
	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)	伸び率
売上高	9,257	9,443	18,701	9,594	10,106	19,700	+5.3%
営業利益	299	456	755	421	479	900	+19.1%
経常利益	405	411	816	272	548	820	+0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	261	58	319	164	356	520	+62.7%
1株純利益	22.98	5.10	28.08	14.45	31.23	45.68	-
設備投資額			741			676	
減価償却費			817			731	
研究開発費			300			348	

〈為替レート前提〉 25/3期：21.5円/元、155円/ドル、 26/3期(予)：20.7円/元、150円/ドル

配当金予想

(15円/株を据え置く)

【2026/3期予想】



〈お問い合わせ先〉
仙波糖化工業株式会社
総務部 IR担当

TEL: 0285-82-2171

FAX: 0285-84-3283

E-Mail : ir@sembatohka.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.sembatohka.co.jp/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。